

利用できる主なサービス

本人・家族の集いの場

●認知症カフェ（思い出カフェ）

認知症の方や家族、地域の方々等誰もが集える場として開設しています。認知症の方や家族が同じ立場で経験を共有したり、参加者同士やスタッフで認知症の相談にも応じます。

地域包括支援センターで開催しています。

●一般介護予防事業（よさってくらぶ）

地域が自主的に百歳体操を行い、地域の居場所となっています。

安否確認見守り

●はいかいSOSネットワーク事業

認知症等の症状により、はいかいする可能性のある高齢者の情報をネットワークに登録し、登録情報を警察署と共有して緊急時に備えます。登録された方には、くつや持ち物に貼るステッカーを差し上げます。ステッカーには登録番号が記載されており、本人の身元確認に役立ちます。また、行方不明になった場合、警察署に加え、はいかいSOSネットワーク協力機関・団体が捜索に協力します。

いわてモバイルメール、ぼちっと奥州利用者には、行方不明者の情報がメール送信されます。

権利擁護

●日常生活自立支援事業

認知症などにより判断能力が十分でない方の福祉サービスの利用手続きや、公共料金の支払いや年金の受領など、日常的な金銭管理の支援、通帳や証書など、大切な書類の預かりなどを行う事業です。

主な介護保険サービス

●居宅介護サービス

- 訪問介護（ヘルパー）
- 通所介護（デイサービス）
- 通所リハビリテーション（デイケア）
- 短期入所（ショートステイ）
- 小規模多機能型居宅介護
- 訪問入浴 ○住宅改修
- 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
- 福祉用具貸与・購入

高齢者福祉サービス

●配食見守りサービス

ひとり暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯で、調理が困難な方へ定期的に居宅へ食事提供（配達）するとともに、安否確認も行います。

●家族介護教室

在宅で介護している家族や、介護に興味のある方に向けて、介護の知識や技術の習得、健康管理、認知症について学ぶ教室です。

介護者同士の交流の場にもなっています。

●警察署

行方不明高齢者の捜索や保護、高齢者の事故や事件の通報を受付対応します。

○奥州警察署
TEL 25-0110



●成年後見制度

認知症などにより判断能力が十分でない方について、本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、本人を法的に保護し、支援する制度です。悪質商法などの被害にあわないように、財産や不動産を管理します。

○奥州金ケ崎地域権利擁護あんしんセンター
TEL 25-7171

●入所サービス

- 特別養護老人ホーム
- 介護老人保健施設



●日常生活用具の給付

高齢者で防火等の配慮が必要な心身機能の低下した一人暮らし等の方に給付します。

- ①電磁調理器 ②火災報知器 ③自動消火器
- ※利用に際しての審査があります。

●お問い合わせ先／お近くの地域包括支援センター

発行：奥州市認知症になっても安心まちづくり連絡会
担当：奥州市地域包括支援センター 発行：令和5年3月

ダイジェスト版

おうしゅう

認知症おたすけ便利帳

2版

現在、65歳以上の高齢者の約4人に1人が認知症の人またはその予備軍と言われており、今後高齢化の進展に伴い、認知症の人はさらに増加していくものと見込まれています。

認知症の症状は、病気の進行とともに状態が変化するため、その状態に応じて適切なサービスを受けることが大切です。どの時期にどのような支援が必要になるのか、おおまかな目安として流れを示したものを「認知症ケアパス」といいます。

この「おうしゅう認知症おたすけ便利帳2版ダイジェスト版」は、「認知症の症状かな?」と思った時の相談窓口等について掲載したものです。心配な症状がある時は、ぜひお近くの相談窓口にご相談ください。

最近、このような症状が気になっていませんか?

認知症のはじまりの目安です。次のような症状が何度もあり、「あれ? 以前と違う」と感じるなどの心配があれば、早めにかかりつけ医や裏面の相談窓口に相談しましょう。



もの忘れがひどい

- 同じことを何度も言う
- しまい忘れ置き忘れが増えいつも探している
- 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う



判断・理解力が衰える

- 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 話のつじつまが合わない
- テレビ番組の内容が理解できなくなった



意欲がなくなる

- 下着を替えず身だしなみをかまわなくなった
- 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった



場所・時間がわからない

- 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 慣れた道でも迷うことがある



人柄が変わる

- 些細なことで怒りっぽくなった
- 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- 自分の失敗を人のせいにする
- 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた



不安感が強い

- ひとりになるとこわがったり寂しがったりする
- 外出時持ち物を何度も確かめる
- 「頭が変になった」と本人が訴える



出典：社団法人認知症の人と家族の会 パンフレットより抜粋

認知症の症状は病気の進行により変化し、症状の変化により必要な支援も変わります。認知症かなと思ったら早めに相談し、本人のできることを支えながら、進行状況に合わせて必要な支援を考えていきましょう。

気づき		重度				
		認知症の疑い	認知症を有するが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要
本人の様子 の例 チェックして みましょう!	<input type="checkbox"/> 物忘れが増えた。 <input type="checkbox"/> 金銭管理や買い物などに少し不安はあるが一人でできる。 <input type="checkbox"/> 眠れないと訴える。	<input type="checkbox"/> 「ものがなくなった」「ものが盗まれた」ということが増える。 <input type="checkbox"/> 頭の中に霧がかかったようだ。 <input type="checkbox"/> 約束が思い出せない。 <input type="checkbox"/> 物事を覚えられない。 <input type="checkbox"/> 失敗を指摘すると怒りだす。 <input type="checkbox"/> 作り話などで取り繕うようになる。 <input type="checkbox"/> 忘れることは多いが、日常生活は自立している。	<input type="checkbox"/> 慣れた道を迷ってしまう。 <input type="checkbox"/> 妄想が多くなる。 <input type="checkbox"/> 食事やトイレがうまうまかなくなる。 <input type="checkbox"/> 季節にあった服装や着方がわからない。 <input type="checkbox"/> ついさっきのことも忘れる。 <input type="checkbox"/> 時間や日付、場所がわからない。 <input type="checkbox"/> すぐ興奮する。 <input type="checkbox"/> 服薬管理ができない。	<input type="checkbox"/> 表情が乏しくなる。 <input type="checkbox"/> 排泄の失敗が増える。 <input type="checkbox"/> 意思疎通が難しくなる。（言葉でのコミュニケーションが困難） <input type="checkbox"/> 歩行が困難になる。 <input type="checkbox"/> 家族など身近な人の顔がわからなくなる。 <input type="checkbox"/> 食事や入浴など一人でできなくなる。		
	家族の心構え	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもと違う、何か様子がおかしいと思ったら、早めに地域包括支援センターまたはかかりつけ医に相談しましょう。 ・認知症の病気について知り、接し方の基本やコツについて理解しましょう。 ・親戚や親しい友人など周囲の人に病気のことを伝えておきましょう。 ・家族間で介護について話し合っておきましょう。 ・介護に失敗しても、自分を責めないようにしましょう。 ・本人が社会参加できるように働きかけましょう。 		<ul style="list-style-type: none"> ・介護者自身の健康管理をしましょう。 ・介護サービスを上手に利用しましょう。 ・家族の集いの場等に参加し気分転換をしましょう。 ・介護者自身の生活を大切に、社会とのかかわりを絶たないようにしましょう。 ・介護で困ったことがあったら、抱え込まずにケアマネジャーや地域包括支援センターに相談しましょう。 		<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活でできないこと（食事・排泄・清潔を保つなど）が増え、合併症を起こしやすくなることを理解しておきましょう。 ・急激な体調の変化に備え、かかりつけ医と相談しておきましょう。
対応・支援	相談窓口	相談（地域包括支援センター・居宅介護支援事業所（ケアマネジャー））				
	医療	受診（まずは、かかりつけ医を受診）				
	本人・家族支援	一般介護予防事業（よさってくらぶ）・認知症カフェ（思い出カフェ）・家族介護教室・高齢者福祉サービス（配食見守りサービス・日常生活用具の給付等）・日常生活自立支援事業・成年後見制度				
	介護サービス	要介護認定の申請	介護保険サービス利用			
	安否確認見守り	はいかいSOSネットワーク事業				

相談窓口

認知症かなと思ったら早めに相談しましょう



《地域包括支援センターの窓口》

	担当地区	名称	電話番号
水沢	水沢・佐倉河	地域包括支援センターみずさわ中央	25-6185
	常盤・羽田	地域包括支援センターみずさわ東	34-0073
	南・真城・姉体・黒石	地域包括支援センターみずさわ南	47-3908
江刺	岩谷堂・米里・玉里・梁川・広瀬	地域包括支援センターえさし中央	34-4826
	愛宕・田原・藤里・伊手・稲瀬	地域包括支援センターえさし南	31-2700
前沢	前沢全域	まえさわ地域包括支援センター	34-0702
胆沢	胆沢全域	胆沢地域包括支援センター	47-5228
衣川	衣川全域	地域包括支援センターころもがわ	52-3810

受診方法

お医者様に相談するのもOK

まずは、**かかりつけ医を受診**

定期的な
診察・診断

- 専門医に紹介
- ①精神科医療機関
 - ②神経内科、脳神経外科
 - ③認知症サポート医

診断・
集中治療

認知症疾患医療センター
【基幹型】 岩手医科大学付属病院
【地域型】 医療法人社団創生会 おとめがわ病院

※かかりつけ医がない場合、かかりつけ医の受診が難しい場合等、地域包括支援センターに相談してください。

■地域包括支援センター

地域で暮らす高齢者のみなさんが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、介護、福祉、保健、医療などさまざまな面から総合的に支えます。

奥州市では、市内8箇所に委託型地域包括支援センターを設置し、きめ細やかな相談支援や地域に密着した事業を推進しています。

《市全体の統括》

基幹型	奥州市地域包括支援センター（市直営）	34-2199
-----	--------------------	---------